

企画展

海を渡ってきた植物の物語

協賛：日本植物画倶楽部（創設35周年記念）



オオイトナノフグリ
小西美恵子作



セイバンモロコシ
小林英成作



コゴメバオトギリ
内城葉子作



ミチタネツケバナ
藤田恵子作

前期 2026年 9月12日(土)～10月25日(日)

後期 2026年 10月30日(金)～12月13日(日)

入場無料

企画展示：午前9時30分～午後4時30分
(ただし9月22日(火)・11月3日(火)は祝日のため
休園日：毎週火曜日 開園 9月24日(木)・11月4日(木)が休園)
開園時間：午前9時～午後5時

会場：記念館企画展示室
お問い合わせ先：TEL03-6904-6403
E-mail: makinoteien@mist.ocn.ne.jp
URL: <https://www.makinoteien.jp/>

練馬区立
牧野記念庭園

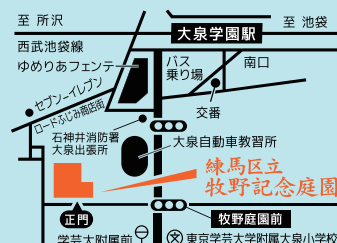
牧野記念庭園は東京都指定文化財
(名勝および史跡)です。

交通案内

- 電車をご利用の方：西武池袋線 大泉学園駅(南口)徒歩5分
- バスをご利用の方：主なバス経路
 - ・JR中央線 荻窪駅/西武新宿線 上井草駅から西武バス「長久保行」
 - ・JR中央線 西荻窪駅/西武新宿線上石神井駅から西武バス「関東バス「大泉学園駅南口行」
 - ・JR中央線 吉祥寺駅/西武新宿線 武蔵関駅から西武バス「新座栄行」「都民農園セコニック行」他
- ★いずれもバス停「学芸大附属前」下車、徒歩3分



牧野記念庭園
公式サイト



開催にあたって

ふと足を止めて道端や空き地をながめるといろいろな植物が生えていることに気づきます。オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ヒメジョオン、ハルジオン、セイヨウタンポポなど、我々にとってなじみのある植物はほとんどが帰化植物です。ともすれば繁殖しすぎて悪者扱いになりがちですが、帰化植物には人を介して海を渡ってきた来歴があります。そうした植物について絵を通して親しんでみましょうというコンセプトで本展を企画しました。

牧野富太郎博士は帰化植物の変遷に興味を持ち、一例としてヒメジョオンやヒメムカシヨモギを挙げ、かつてたくさん生えていたものが今ではほとんど見かけなくなったことを晩年に指摘しています。博士には、標本収集に努めいずれば帰化植物の本を出そうという考えがありました。

本展では、創設35年を迎えた日本植物画倶楽部の協賛により、同会が刊行した『日本の帰化植物図譜』(大場秀章監修・解説 アボック社 2009年)に収載される図および同会会員が描いた帰化植物の作品、そして牧野博士のコレクションから選んだ江戸後期に渡来した植物の図などを展示します。海を渡ってきた植物の語る物語をお楽しみください。



アスパラガス 尾形幸子作



コメツウマゴヤシ 犬島裕子作

関連イベント

デモンストレーション

1 黒のイラストボードに植物画を描く

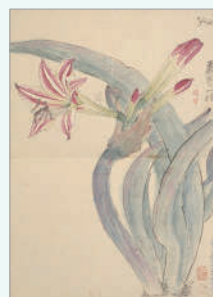
講師：北博子氏

日時：9月23日(水・祝) 10時～11時30分

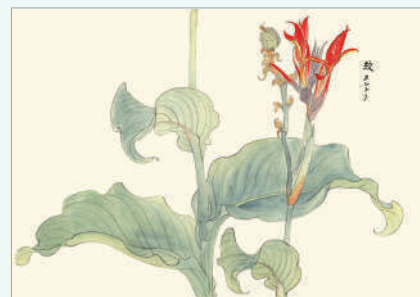
内容：黒のイラストボードに直接透明水彩絵具を塗っても色がのりません。しっかりと着色でき、立体的な作品に仕上げる裏技と、制作に必要な画材を紹介します。

定員：30名(事前申込・抽選)

会場：牧野記念庭園講習室



ベニスジサンジコ
関根雲停作 嘉永3年(1950)
個人蔵



絞ダンドク 関根雲停作

個人蔵

ワークショップ

2 葉っぱのフロッタージュ

講師：小林恵子氏

日時：9月23日(水・祝) 13時30分～15時

内容：フロッタージュは、木片や葉や石などの凹凸した面に薄い紙を当てて、鉛筆やクレヨンで写し取る方法です。「こすり絵」ともいわれます。今回はいろんな葉っぱをフロッタージュして一枚の絵を作ります。

定員：16名(事前申込・抽選)

対象：小学生以上

持ち物：汚れてもいい服装。バック(A4サイズのファイルとクーピーペンの持ち帰りができるもの)

会場：牧野記念庭園講習室

3 アーティストトーク

10月12日(月・祝)：郡司敦子氏、高原幹子氏、瀧良子氏

11月15日(日)：今村千絵氏、小林英成氏、寺島宏子氏

どちらも 14時30分～15時

内容：出品されたアーティストより、制作のきっかけや背景などについてお話しいたぎります。

定員：各回 20名(事前申込・先着順)

場所：牧野記念庭園記念館企画展示室(イベント中の入室は事前申込者を優先します)

4 ボタニカルアート講座

講師：石川美枝子氏

日時：11月25日(水)、12月2日(水)10時～15時30分
(2日制、休憩1時間半を含みます)

内容：本格的なボタニカルアート(植物画)の描き方を学びます。

持ち物：透明水彩絵具、水彩筆、パレット、鉛筆、練ゴム、消しゴム、コンパスまたはディバイダー、ティッシュペーパー、細いボールペン、ルーペほか

材料費：2000円

定員：8名(事前申込・抽選)

場所：牧野記念庭園講習室

イベント①～④は、各申し込み受付期限までに練馬区立牧野記念庭園公式サイト内のフォームよりお申込みください。

①・②：9月1日(火)から9月8日(火)まで

③：10月1日(木)から各回の前日まで

④：11月1日(日)から11月8日(日)まで



※原則、練馬区在住、在勤、在学の方を対象としています。

※お申し込み後2日経過しても当園より返信がない場合はお電話にて(03-6904-6403)ご連絡ください。尚「@makinoteien.jp」からのメールは、受信許可設定をお願いいたします。



まきの とみ た ろう 牧野富太郎 略歴

文久2年(1862年)4月24日に高知の佐川村に生まれる。生涯に発見・命名した植物は1,500種類以上、収集した標本は約40万枚、研究のために収集した書籍は約4万5千冊にのぼる。大正15年(1926年)に渋谷から北豊島郡大泉村(現練馬区立牧野記念庭園の所在地)に移り住み、昭和32年(1957年)に満94歳で没するまでの約30年をこの地で過ごした。

